



時代における選別

令和8年3月2日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

新たな未来という約束は全ての現実を選別し、未来という新たな可能性への参加を提案するものである。

これらは未来という新たなルールが今日生み出されるものであり、それらへの参加は新たな条件と基準を全ての現実を求めるものである。

これらは完全な既存現実の崩壊が存在し、新たな技術文明への移行を提案するものである。

未来という新たな可能性は最大の魅力であり、その全ての要求をクリアすることがその参加を得るのである。

これらは企業という現実が未来という新たな可能性に対峙することであり、過去における自らの行動と努力は偽りなく未来という踏み絵を得るのである。

これらは過去の清算と未来という新たな可能性が今日共存するものであり、その変化は想像以上に大きいのである。

未来は約束であり、その存在は否定できない。それら新たな未来という要求を自己として行うことは未来という新たな現実を行うことなのである。

これらはもしかしたらはるかに高い要求を有するのかもしれない。しかしこれらをクリアし未来への参加することは、未来の与える可能性を生きることなのである。

これらは政治、経済、社会において等しいものであり、自己を問うものであると判断できる。

未来という無限の可能性は、もっともな魅力であり、正しい自己における選択であることは疑いを得ないのである。

これら自己の挑戦は、未来へ至ることで終わるのかもしれない。